

電動人工芝クリーナー

取扱説明書

この度は「電動人工芝クリーナー」をお買い求めいただき、誠にありがとうございました。

ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、本機の性能を十分にご理解の上、安全に正しくお使いくださるようお願い致します。

お読み終わった後もこの取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

なお、不適切な使用により事故が生じた場合、当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

お守りいただく内容の種類を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「使用者が死亡事故または重傷を負う可能性が想定される」内容
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負うまたは物的損害が発生する可能性が想定される」内容

電動工具共通の安全上のご注意

- 「電動工具」とは電源式（コード式）電動工具、または電池式（コードレス）電動工具を指します。
- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、ご使用前に必ず取扱説明書に目を通し、下記の「安全上のご注意」をすべてよくお読みの上、指示に従って正しくご使用ください。
- お読みになった取扱説明書はいつでも見られるように必ず保管しておいてください。

警 告

1. 作業場は明るくし、いつもきれいに保ってください。
 - ・ ちらかった暗い場所や狭い作業台は、事故の原因となります。
 - ・ 強風の時や夜間や薄暗い場所での使用は危険です。昼間の明るい時間帯で作業してください。
2. ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの引火性の高いものの近くでは使用しないでください。
 - ・ 火花が引火して火災の原因となります。
3. 使用中は子どもや第三者を近づけないでください。
 - ・ 事故の原因となります。
4. 電源プラグは適正な電流・電圧のコンセント、発電機でご使用ください。
 - ・ 一般家庭用電源（AC100V）対応機です。出力を確認のうえ適正な電源・延長コードをご使用ください。
5. 本体・スイッチ・プラグ・バッテリーの修理や改造をしないでください。
 - ・ 本製品は該当する安全規格に適合しています。改造されると火災や感電の恐れがあります。
6. 感電に注意してください。
 - ・ 使用中に、身体をアース（接地）されているものに接触させないようにしてください。（例えば、金属製のパイプ、エアコンの室外機、電子レンジ、冷蔵庫の外枠など）
7. ペースメーカーなどをご使用の方は、稼働中の本品に近づけないでください。
 - ・ 電磁波の影響により誤作動を起こす可能性があります。
8. 雨天時の取扱に注意してください。
 - ・ 雨ざらしにしたり、極端に湿気の多い所や高温な場所で保管をしないでください。
 - ・ 濡れた手でコンセントプラグやバッテリーに触らないでください。
 - ・ 小雨、濃霧、雨天時の使用はおやめください。感電の危険があります。

9. 電源コードの扱いに注意してください。

・ 電源プラグやコードは使用前に損傷や破損がないかよく点検をしてください。使用時は無理に引っ張ったり挟み込んだりしないでください。

・ 電源コードは熱・油・角のあるところで使用しないでください。電源プラグやコードが損傷したり、傷んだりしますと、感電、火災の恐れがあります。

10. 使用環境に見合った延長コードを使用してください。

・ 屋外で使用する場合、キャブタイヤコードの延長コードを使用してください。

・ 延長コードを使用して充電する場合は十分な太さの出力に見合ったコードを使用してください。

11. 使用しない電動工具の保管は子どもの手の届かない、乾燥した鍵のかかる場所に保管してください。

12. 無理な使用を避けてください。

・ 取扱説明書にある機能を超えた作業はしないでください。能力に見合う速さで効率的に作業をしてください。

・ 小型仕様の電動工具やアタッチメントを大型の電動工具で行なうような負荷のかかる作業に使用しないでください。

・ 著しく疲れている時やアルコール、医薬品等の摂取により正常な判断ができない体調の場合は使用しないでください。

13. 作業に適した服装で行ってください。

・ だぶついた衣服やネクタイ・ネックレス等の回転部に巻き込まれる恐れがあるものは着用しないでください。

・ 屋外での作業の場合には手袋と滑り止めのついた履物の使用をお勧めします。

・ 長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。

14. 安全保護具を使用してください。

・ 作業時は、保護めがねを使用してください。必要に応じて、ヘルメット、防じんマスク、防音保護具を併用してください。

15. 無理な体勢で作業しないでください。

・ 斜面など足場の不安定な場所、無理な姿勢での作業は思わぬ事故になる恐れがあります。

16. 不意な始動を避けてください。

・ 本体を移動する際はスイッチに手がかからないよう注意してください。

・ 移動、手渡し、メンテナンスの際は本体からバッテリーを抜いてください。

・ 稼働させたまま放置しないでください。

17. 破損・故障・異常がないか確認のうえ、電源を入れてください。

・ 使用前に本体の破損・部品の破損・締め付け状態、その他運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか十分に確認してから使用してください。また、本体を誤って転倒、ぶつけた際も同様に確認してからご使用ください。

・ 故障・異常が発覚した際は、大変危険なためただちに使用をやめ、販売元または弊社まで修理依頼をお申し付けください。

・ スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。

18. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。

・ 点検・調整・清掃する場合は電源を切り、バッテリーを本体から抜いて作業を行ってください。

・ 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従って確実に取り行ってください。

・ 使用前に、調節に用いたレンチ等の工具類が取りはずしてあることを確認してください。振動によって飛散し、怪我をする恐れがあります。

・ 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。

19. 取扱説明書で指定された正しい付属品やアタッチメントをご使用ください。

20. 充電器のある電動工具の充電器は、充電以外の用途には使用しないでください。

「電動人工芝クリーナー」 安全上のご注意

●ここまでは電動工具共通の注意事項を記載しましたが、さらに「電動人工芝クリーナー」として以下の安全上のご注意を守ってご使用ください。

警 告

1. 火災の原因となりますので、下記の物は集めないでください。
・切断後の高熱を持った木屑・摩擦熱を持った鉄屑・有害物質（粉塵、蒸発によって有害物質を発生するものも含む）・吸引直後のタバコの吸い殻や熱い灰・洗剤、石鹼水などの発泡性の液体・爆発性物質（石灰、水素など）・発火性物質（アルミニウム、リン、亜鉛、マグネシウム、チタンなど）・揮発性液体（シンナー、ガソリン、灯油、ラッカーなど）
2. 本製品は防爆構造になっておりません。ガソリン・シンナー・可燃性のガス・粉塵などの爆発性や揮発性の高いものの近くでは使用しないでください。
3. 本体を倒した状態で稼働させないでください。
4. 濡れた手でスイッチを操作したり、プラグの抜き差しをしないでください。
5. 誤って倒したり、ぶついたりした時は、必ずよく点検してください。
6. 稼働中は回転ブラシに足や手を近づけたり、覗き込んだり、顔や衣服を近づけたりしないでください。
7. 稼働中は人や動物を近づけないでください。
8. ペットの近くで本機を稼働させないでください。
9. 使用の際は防塵マスクや保護メガネを使用し、滑り止めのついた手袋を着用してください。
10. 本体を稼働させたまま目を離したり、放置しないでください。必ず作業者がハンドルを操作し、本体に付き添うようにしてください。
11. 本体を乱暴に引き寄せたり移動させたりして、本体を転倒させないようにしてください。
12. ブラシの掃除、メンテナンス、付属品の交換をする際は必ず電源プラグを抜いてからおこなってください。
13. 通気口は塞がないでください。通気口付近に飛び散った泥や土埃はよく拭き取ってください。故障や火災の原因となります。
14. 使用中は巻き込まれる恐れのある、髪の毛やマフラー、細かい飾りのある洋服や靴などを回転ブラシに近づけないように注意してください。
15. 使用中、モーターから異音がしたり、誤作動したりした時は、直ちにスイッチを切って使用を中止し、販売店または弊社に点検・修理を依頼してください。
16. 本機を作動させる周囲にガラス、金属、釘、その他の硬い物体や、ナイロン袋、ナイロン製の衣服、ビニールテープなど長い物がいないか確認し、事前に取り除いてから作業してください。

注 意

1. 枯れ葉などでローラーが詰まった場合はすぐにスイッチを切り、詰まった枯れ葉や枯れ木を取り除いてください。
2. 大量の枯葉などに回転ブラシを直接押し付けて巻き取り続ける、などの無理な使用法はしないでください。
3. 通気口にカバーなどをかけた状態で稼働させないでください。
4. 火気の近くで使用しないでください。
5. ガラスや釘、刃、針など鋭利な物を巻き取らないでください。
6. 連続運転は 30 分以内にしてください。本機は長時間連続稼働させる仕様設計ではありません。モーター焼けの恐れがあります。
7. セメント粉、トナー、凝固剤など固形状になる物を集めないでください。
8. 使用中は無理な力をかけたり、用途として想定されている以上の負荷をかけたりしないでください。
9. 上に体重をかけて乗りかかったり、引きずったりして使用しないでください。
10. 延長コードは 30m 以上の追加延長をしないでください。電圧降下により動作不良や故障、コード火災の原因となります。
11. 稼働させる際は必ず回収袋を使用してください。
12. 本体を稼働させたまま放置しないでください。
13. 使用前に回転ブラシが壊れたり割れたりしていないか確認してください。破損のあるまま稼働させると部品が飛散し、怪我や咳込みの原因となります。
14. 大きなビニール袋や長いテープなどを吸い込まないでください。それらが中で詰まり、ブラシが動かないまま稼働するとモーター故障の原因となります。
15. 本品は家庭でのご使用を目的とした掃除機です。工業用や農場用など業務用クリーナーとして使用しないでください。
16. 使用後は取扱説明書に従い必ずお手入れ・清掃をしてください。
17. ブラシに変色が見られるブラシに変色が見られる場合は早めに新しいブラシと交換してください。故障の原因となります。
18. 回転ブラシに歪みのある状態や、回転が鈍い、スムーズに回転しないなどの状態で稼働させないでください。異常のある回転ブラシは交換してください。
19. 指定の純正交換パーツ以外のパーツを使用しないでください。
20. 破損した回収袋を使用しないでください。
21. 回収袋に溜まったゴミはこまめに排出してください。枯れ葉やごみなどが過度に詰まった状態で稼働し続けると故障の原因となります。
22. 不意な稼働を防ぐため、移動の際は操作グリップを握らないようにしてください。
23. 洗剤を使用したり、熱湯やスチームなどを使用し操作しないでください。

【法令を遵守してご使用ください】

●騒音規制について…騒音・振動規制法については、各自治体ごとに政令で定められた内容が異なります。お住まい管轄の法令をご確認のうえ、近隣の方へのご迷惑とならないよう十分に配慮してご使用ください。

●本体のご使用に際し、本製品に不備がない事由により使用者が第三者に損害を与えた場合は、その責任を負う義務があります。

基本仕様

電動人工芝クリーナー		EW PC44-JP
電圧	100 V (50/60Hz)	
消費電力	300 W	
回転数	1200rpm	
音量	98db	
サイズ(約)	組立時:幅45×奥行22×長さ100~122cm コード長さ:35cm	
重さ(約)	4.5kg	
材質	ABS、PP、ナイロン、アルミ、他	

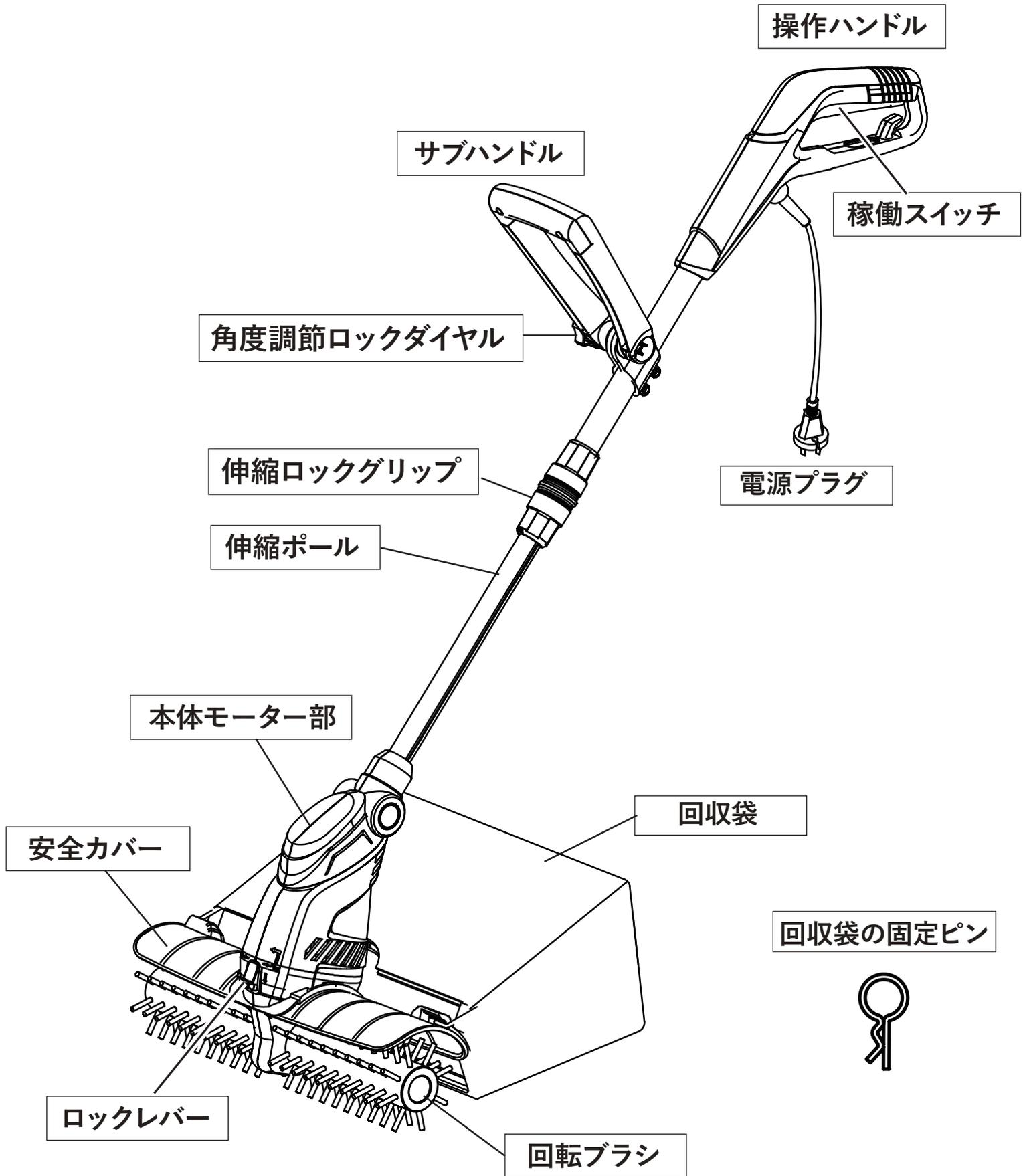
※商品改良のため、仕様・外観は予告なしに変更することがありますのであらかじめご了承ください。

セット内容

本体、回転ブラシ、回収袋、回収袋の固定ピン

※本機は組立式です。取扱説明書をよく読み、正しく組み立ててからご使用ください。

各部名称



組立方法

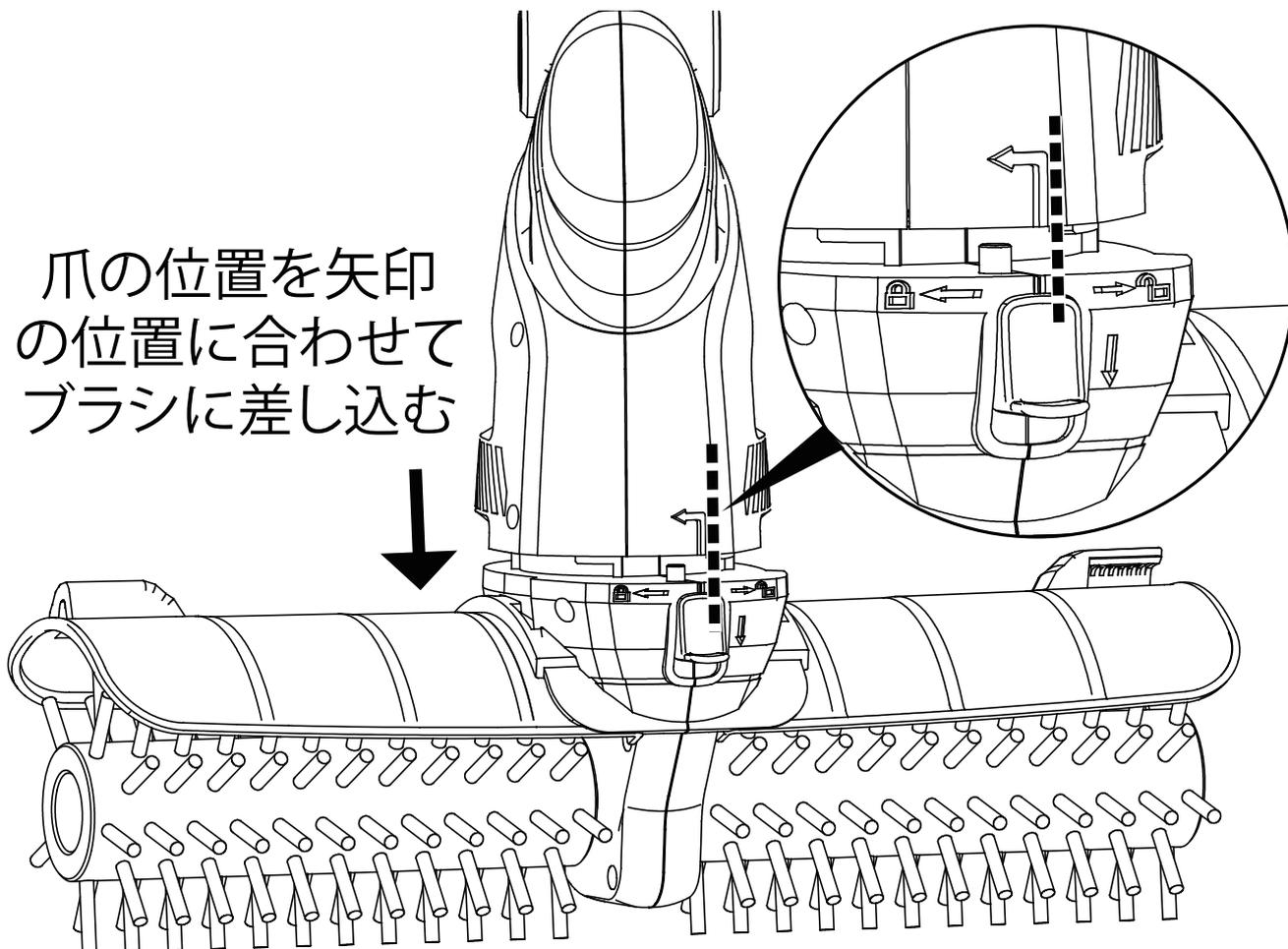
本機は組立式です。全ての組み立てが完了してから電源プラグを繋ぐようにしてください。

⚠ 注意

- ・回転ブラシの取り付け、取り外しは電源プラグを抜いて行ってください。不意な事故の原因となります。
- ・サブハンドルの角度の調節時は稼働スイッチに手をかけないように操作してください。不意な事故の原因となります。

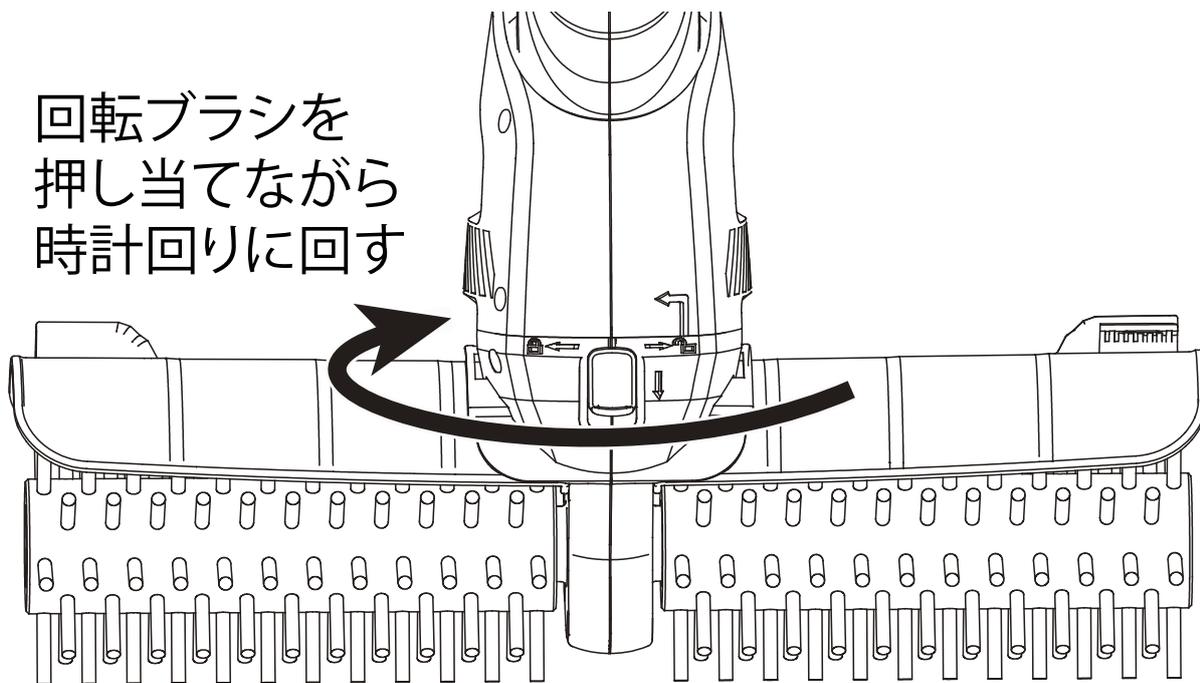
回転ブラシの取り付け・取り外し：

回転ブラシの爪の位置をポール側の矢印の位置に合わせて回転ブラシを差し込みます。



回転ブラシをしっかり押し込みながら矢印の方向に回し入れます。カチッと爪のはまった音がしたら固定完了です。

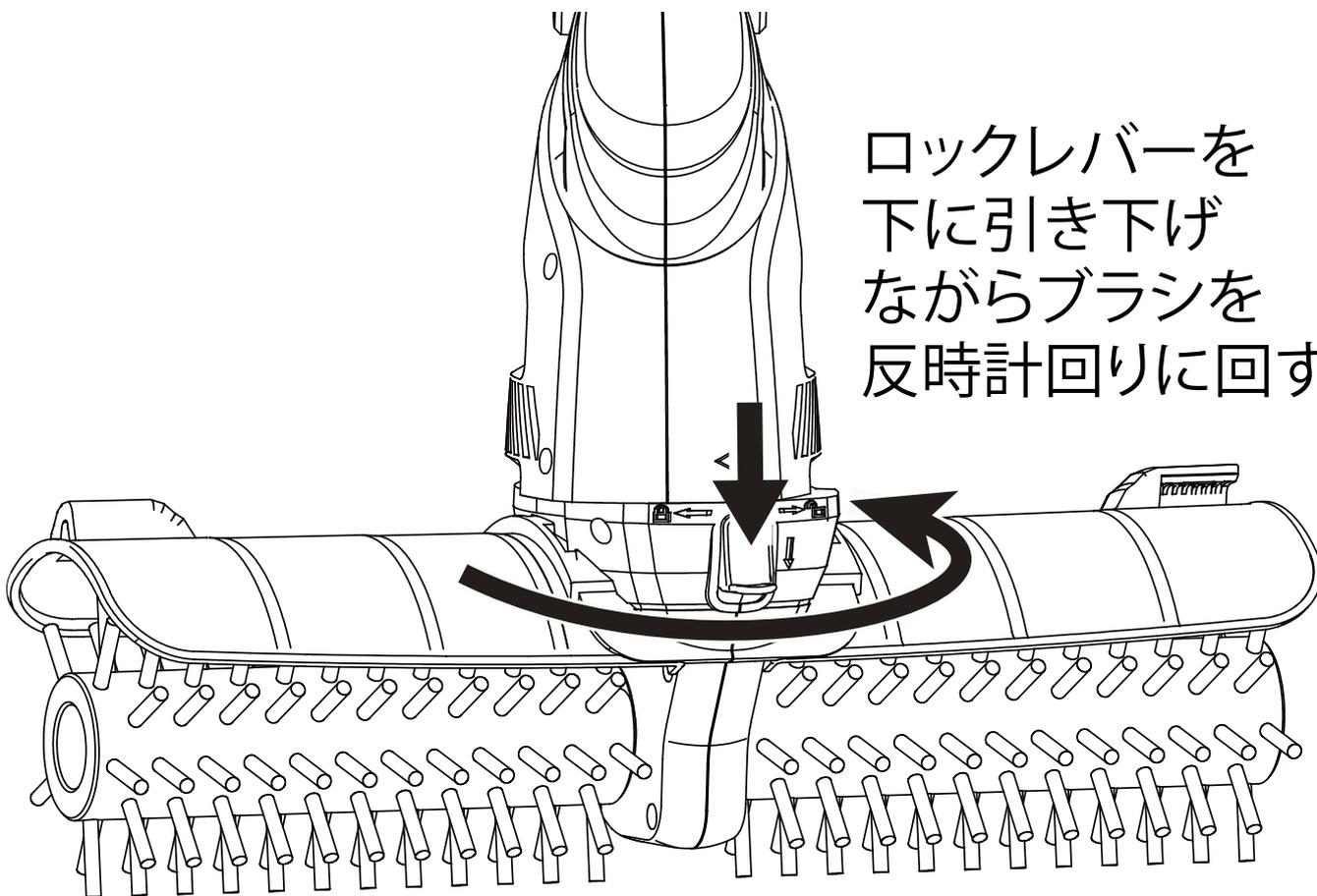
回転ブラシを
押し当てながら
時計回りに回す



カチッと爪のはまった音がします。

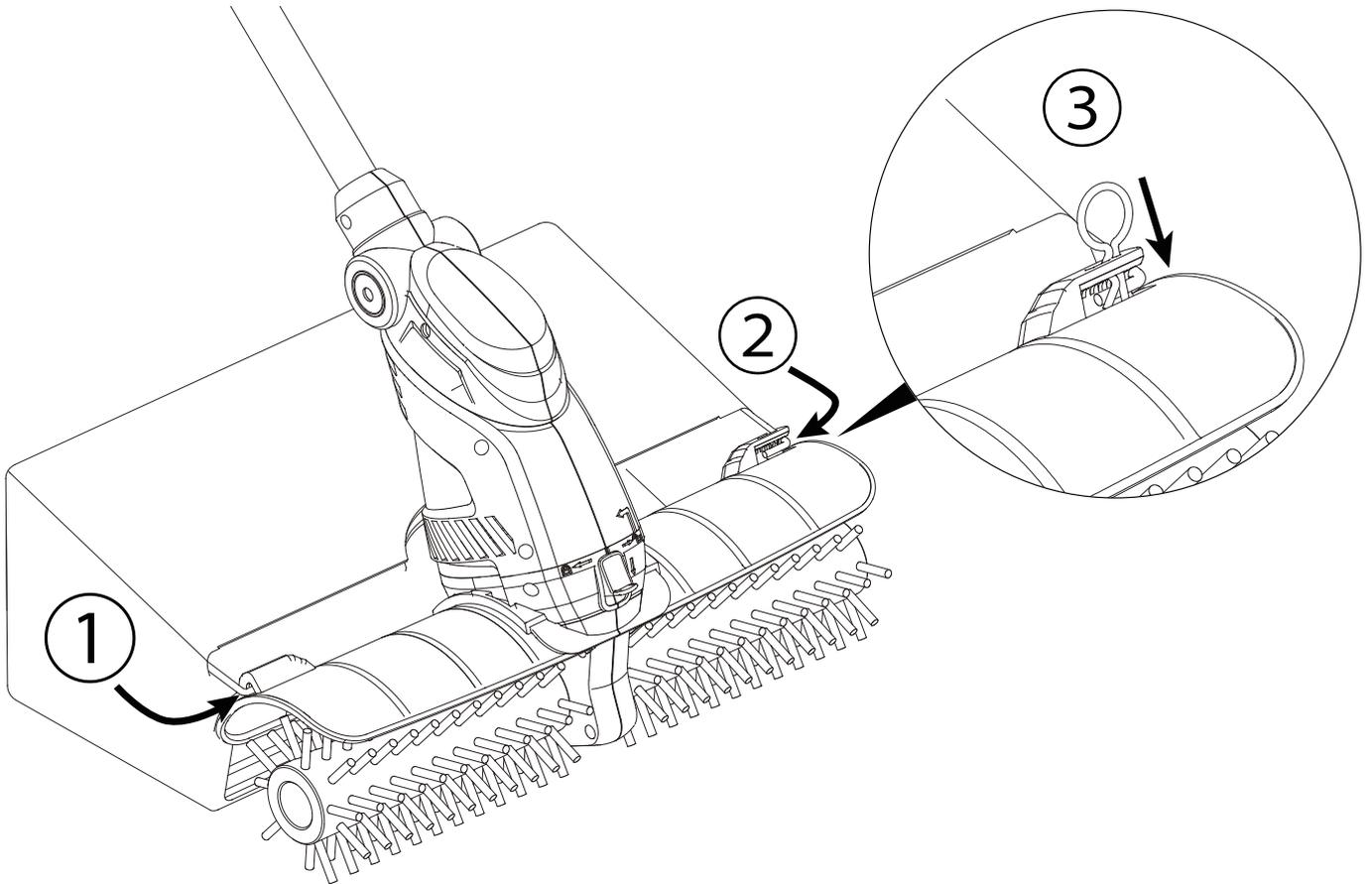
回転ブラシを取り外す際は、ロックレバーを下に引き下げながら、回転ブラシを矢印の方向に回して外します。

ロックレバーを
下に引き下げ
ながらブラシを
反時計回りに回す



回収袋の取り付け方：

回収袋のフックを①②の順番で回転ブラシ後部に取り付けます。最後に③の箇所にある穴に回収袋の固定ピンを刺して固定します。

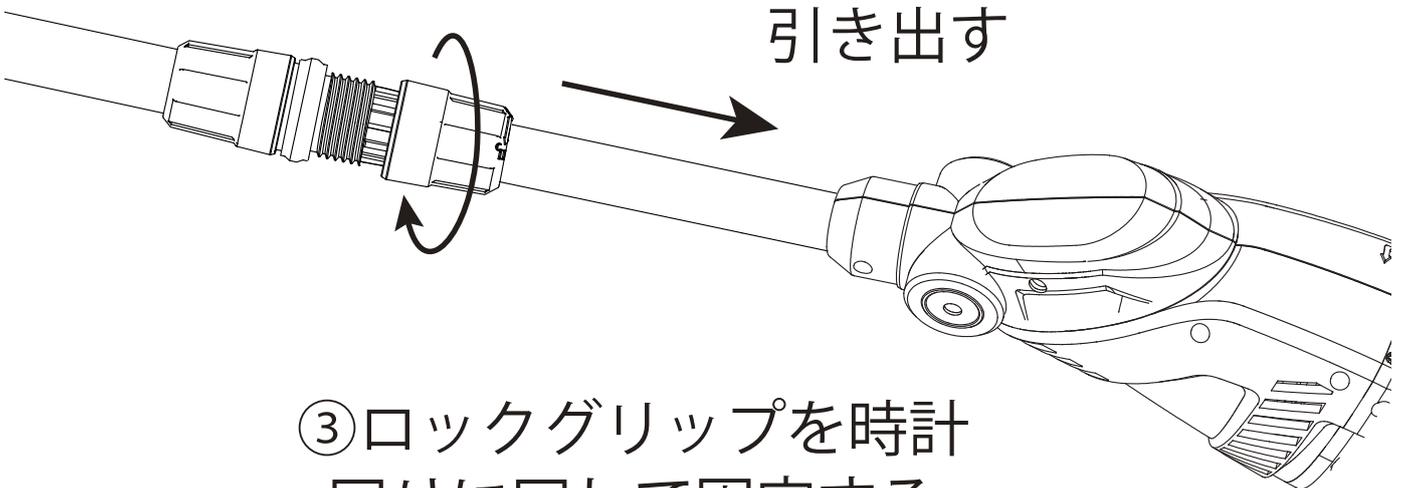


ポールの長さ調節：

伸縮ロックグリップを反時計回りに回してゆるめます。ポールを引き出し、好みの長さにセッティングしたらロックグリップを時計回りに回して固定します。

①反時計回りにゆるめる

②ポールを引き出す

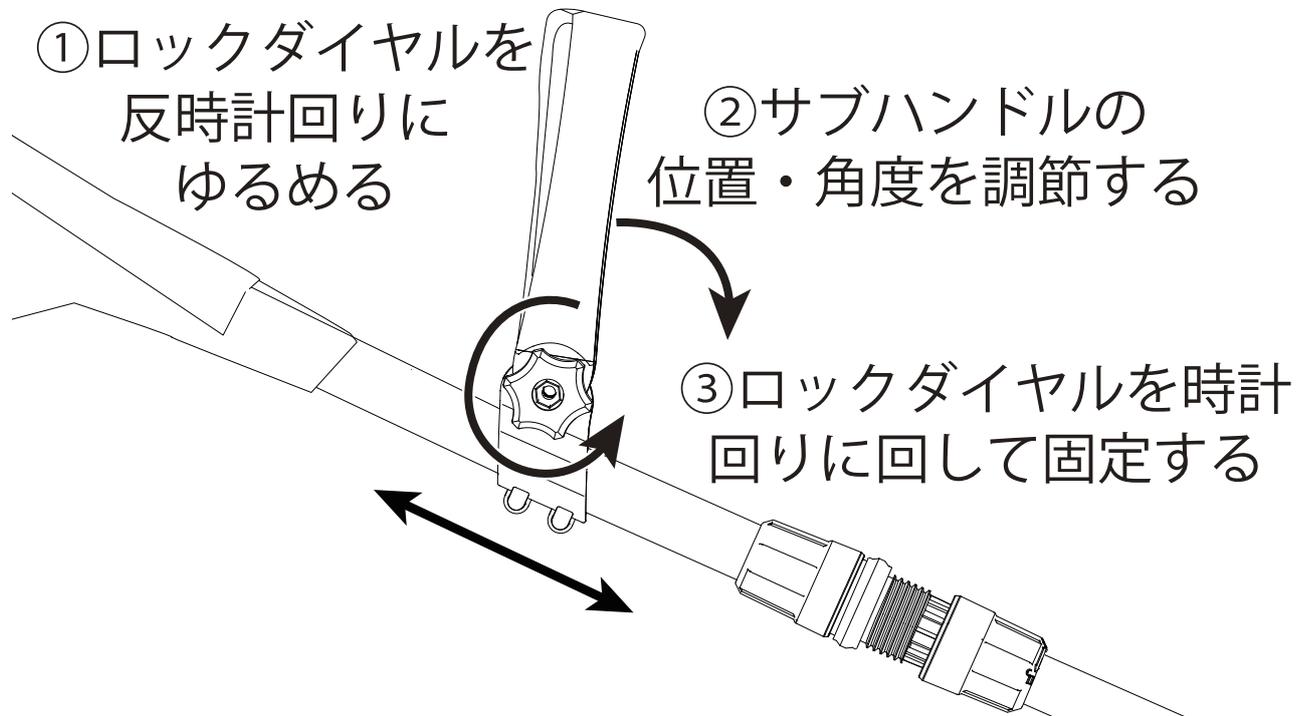


③ロックグリップを時計回りに回して固定する

サブハンドルの角度調節：

角度調整ロックダイヤルを反時計回りに回してゆるめます。

サブハンドルを好みの角度にセッティングします。ロックダイヤルを時計回りに回して固定します。

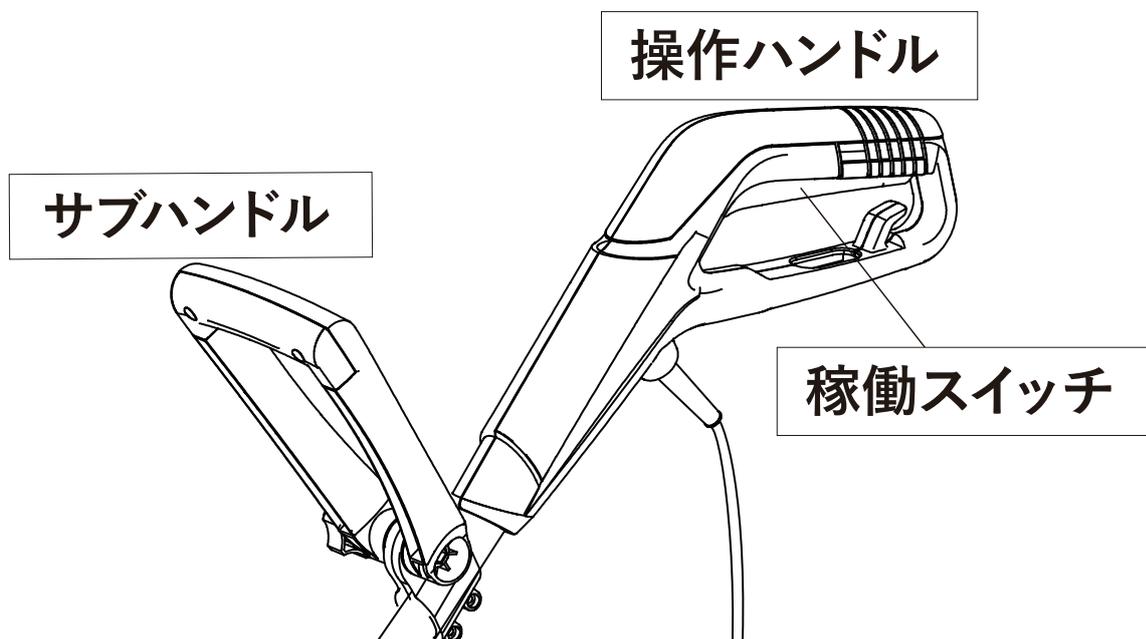


操作方法

本機は自走回転式です。稼働前に、操作範囲前方に人や動物がいないか、障害物がないかよく確認してから稼働させるようにしてください。

スイッチの操作方法：

サブハンドルをしっかり持って支えながら、操作グリップを握ります。スイッチをゆっくり押し込んで稼働させてください。手を離すと停止します。



⚠ 注意

- ・回転ブラシのお手入れ、回収袋の取り付け取り外しの際は電源プラグを抜いてからおこなってください。
- ・必ず両手で支えて操作してください。片手での操作で不意な稼働により怪我をする恐れがあります。
- ・安全カバーが破損したり、スムーズに回らなくなった回転ブラシでの稼働はしないでください。異常のある回転ブラシ、破損のある回収袋は新しいパーツと交換してください。

操作方法：

本機に対して真っ直ぐ後ろに立ち、操作ハンドルを握りながらサブハンドルを持って、両手でしっかり本体を支えます。前方に障害物がないのを確認してから操作ハンドルをゆっくり握り込んで稼働してください。

稼働し始めると回転ブラシは真っ直ぐ前に高速回転していくため、自走します。回転に合わせて前進させながら作業を進めてください。

本機は真っ直ぐに進むため、直線を往復しながら全体を作業します。進行方向を曲げようと無理やり引っ張ったり、押したり、グリップを曲げようとしたりしないでください。



回転ブラシのお手入れ：

回転ブラシに枯葉、水分などがたまらないよう、つまりが発生した場合は取り除きながらご使用ください。回転ブラシに詰まりがあると回転が落ち、オーバーヒートする原因となります。糸屑など長いものが絡まった場合はハサミを使用して切ってからつまりを取り除いてください。

回収袋のお手入れ：

回収袋に枯れ葉やゴミが溜まると、回転ブラシ側に逆流することがあります。溜まったゴミ屑はこまめに捨てながら作業を進めるようにしてください。

お手入れと保管



警告

- ・本体や回転ブラシを水につけたり、水洗いしないでください。故障や感電の原因となり、大変危険です。
- ・途中で回転ブラシが濡れたり、泥で汚れたりした時はそのまま使わずに一旦乾かしてからご使用ください。

清掃：

- ・小さいブラシなどでモーターや放熱口についた塵、埃などを取り除いてください。
- ・使用後は回転ブラシのゴミ、回収袋内のゴミを毎回取り除いてください。
- ・汚れたら乾いた柔らかい布で本体の汚れ・水分をふき取ってください。ワックス、アルコール類、シンナー、ベンジンなどは故障の原因となりますので使用しないでください。
- ・スイッチやハンドルに付いた木屑、ホコリを取り除いてください。
- ・本体の水洗いはしないでください。泥汚れなどがひどい場合には、取り外した回転ブラシのブラシ部分のみを水洗いし、完全に乾燥させてからご使用ください。

点検：

- ・各部取り付けネジにゆるみがないか定期的に確認してください。
- ・各部パーツに破損がないか定期的に点検してください。
- ・回転ブラシに詰まっているものがないか確認してください。
- ・回転ブラシがスムーズに回転するか確認してください。
- ・回転ブラシの安全カバーが破損したり、壊れていないか確認してください。

保管：

- ・コンセントにさしたまま保管しないでください。
- ・乾燥した場所に保管してください。
- ・子ども手が届くところ、または錠が掛からないところに置かないでください。
- ・風雨にさらされたり、湿度の高いところに置かないでください。
- ・直射日光が当たったり、車内など高温になるところには置かないでください。
- ・ガソリンなど、引火性が高いものの近くに置かないでください。

故障・修理：

修理はご自分でなさらず、不具合のある場合には直ちに使用を中止し、必ずお問い合わせの販売店または弊社にお申しつけください。

故障かな？と思ったら

よくあるお問合せ	ご確認ください。
稼働できない	ご使用の延長コードの出力をご確認ください。15A以上の出力コードをご使用ください。
使用中急に動かなくなった	<ul style="list-style-type: none"> - 回転ブラシの中に詰まりがないか確認してください。詰まりがある場合は取り除いてください。糸のような長い紐状のものが絡まっている場合はハサミなどを用いて切ってから詰まりを取り除いてください。 - 回転ブラシを清掃しても稼働できない場合は内部トラブルの可能性がります。
使用中にすぐ止まる	<ul style="list-style-type: none"> - 炎天下での使用や過負荷での稼働時に本体モーターの内蔵自動ブレーカーが作動することがあります。一度本体を休ませ、十分に冷ましてからご使用ください。 - 回転ブラシの内部に詰まりがあるために、回転がスムーズにできなくなることがあります。本体モーターは過負荷がかかると内蔵自動ブレーカーが落ちる仕組みになっています。ブラシがスムーズに回転するか確認し、回らない場合は内部の詰まりを解消してください。 - 短時間に何度もスイッチのオンオフを繰り返すとモーターに過負荷がかかり故障の原因となります。一旦使用を止め、モーターを休ませてください。
粉塵が吹き出してくる 回収袋からゴミが吹き出してくる	<ul style="list-style-type: none"> - 砂埃の多いところでの作業は細かい粉塵を巻き上げてしまうことがあります。 - 回収袋にほつれや破れがあると、そこから粉塵がやゴミ噴出してくることがあります。回収袋に破損がある場合は交換してください。 - 回収袋に大量にゴミが溜まっていると、回転ブラシと回収袋の隙間からゴミが噴出することがあります。集まったゴミを一度廃棄してください。
石を掻き集めてしまう	砂利のような小さい石はかき集めてしまうことがあります。大きい石が混ざると内部破損の原因となりますので砂利が多いところでのご使用はお避けください。

